



## 縄文時代の土偶は、何のためにつくられたの



じゅ文をとなえと、神がのりうつって、病気やけがを治すものなど、いろいろな説があるんだよ。

### 縄文時代の遺跡で発見される

土偶は、ねん土で形をつくり、かんそうさせてから、うわ薬をかけずに焼いた人形です。日本では、全国各地の縄文時代の遺跡で発見されていますが、西日本より東日本のほうが多く、いちばんたくさん発見されているのは、青森県です。

### 大部分は女性像

土偶には、さまざまな形のものがありますが、男性像と思われるものはわずかで、大部分が女性像とみられています。多くの場合は破片として発見され、完全な形で出てきたものは、数えるほどしかありません。完全な形に近いものでも、手・足や頭が欠けていることが多いのです。

### つくった目的については、いろいろな説がある

縄文人が土偶をつくった目的については、いろいろな説があります。女性像が多いことから、女性が子を生むことに関連づけて、食べ物が増えることをいのったのだろうとか、安産のお守りだろう、といった説があります。また、体の一部が欠けているものが多いことから、うでをけがした人は土偶のうでを、足をけがした人は土偶の足を折ることが、けがを治すまじないになった、とも考えられています。ふだんはただの土人形で、巫女のような人がじゅ文をとなえと、神が土偶にのりうつり、それを神として儀式を行ったのだろう、という説もあります。つまり、土偶をつくった目的や使いみちが、はっきりわかるような証拠は、まだ発見されていないのです。

